

2008. 8. 28 市民活動支援を考える研究会資料

淡海ネットワークセンターの市民活動支援事業について

(財)淡海文化振興財団(愛称淡海ネットワークセンター)は、様々な分野における県民の自主的で営利を目的としない社会的活動を総合的に支援することにより、地域の個性や魅力を高め、よりよい地域社会を実現するために、滋賀県と県内市町村からの出資により、1997年4月1日に設立された。以来、淡海ネットワークセンターは、市民活動団体・NPOを総合的に支援する地域のセンターとして、以下の事業を行っている。

情報提供事業

市民活動の取り組み状況や催しの案内、助成金情報など、市民活動に関する情報を収集して提供している。

【支援メニュー・成果】

◇情報交流誌「おうみネット」の発行

話題性とメッセージ性を重視した特集記事を軸に、淡海ネットワークセンターの取り組みや活動団体等の情報を提供。

(A4判8頁、年6回各1万部発行、活動団体・関係機関・公共機関・金融機関に配布)

1997年の創刊から11年が経過し、現在、64号まで発行。広く市民活動・NPOに関する情報提供と県内の団体間の情報交流を図り、特集記事などにより広く市民活動の方向性などを取り上げてきた。今年度からは、「おうみネットサポーター」による情報収集とネットワークの拡大を図っている。

◇インターネットの活用・メールマガジン「おうみネットe~マガジン」の配信

ホームページを通じたセンター情報や市民活動団体の情報などの配信。

(平均120件/日アクセス)

また、メーリングリストを利用して、イベント・助成金・センター事業等の情報を活動団体等に提供。

(月3回程度配信、各800件/回)

ホームページ・メールマガジンは、イベントや助成金等の情報をタイムリーに伝える媒体として、情報掲載を希望するリピーターも多い。

◇ブックレットの発行

淡海ネットワークセンターが主催する講座等の記録を取りまとめたブックレットの発行。

(年1~2回、各700部程度)

現在、27号まで発行し、淡海ネットワークセンターが取り上げた課題をコンパクトにまとめた記録誌として、時代の流れが分かるシリーズになっている。

人材育成事業

市民活動を担う人材を育成し、市民活動・NPOのための知識やノウハウを学ぶ講座等を開催することにより、市民活動に取り組む人たちを支援している。

【支援メニュー・成果】

◇「おうみ未来塾」の開催運営

地域社会の課題を発見して解決の方策を考え、実践する「地域プロデューサー」が育つ場として「おうみ未来塾」の開催運営。

(2年課程、各期25人程度)

開塾以来9年が経過し、現在、9期生と10期生が在塾。240人余りの卒塾生と在塾生が、県内各地で様々な活動を行っている。

◇各種講座の開催

市民活動に役立つ知識・ノウハウの提供や、新しい地域づくり等の事例を学ぶ講座の開催。
(年数回開催、各30人程度)

組織運営サポート事業

市民活動団体・NPOの運営等に関する相談に応じるとともに、多様な主体との協働や市民事業化を促進し、組織運営の基盤強化をサポートしている。

【支援メニュー・成果】

◇相談業務

面接や電話・FAX、メール等により、市民活動や団体の運営に関する相談に幅広く対応。
(年200件程度、内容は、団体や人の照会・組織運営・活動の取り組み・法人設立等)

◇企業-NPO連携促進事業

淡海フィランソロピーネット等と協力して、企業とNPOが出会い、活動紹介や意見交換ができる場を設定。

◇NPOサポート事業

市民活動団体・NPOの運営や事業実施に関して、職員が団体を訪問して実態把握と助言を行うほか、必要に応じて専門家がサポート。

おうみNPO活動基金助成採択団体を対象に行ったアンケート調査では、サポート事業が団体の組織運営改善につながったとの評価も得ている。

◇おうみ市民事業創出支援事業

市民活動団体・NPOが、事業を通して自立的・持続的・発展的な組織に成長するよう、関係機関と連携して支援。

(市民事業相談会・市民事業化連続講座・協働サロン・市民事業個別相談の開催)

昨年から実施しており、市民事業化に向けての新たな取り組みも芽生え、県関連機関との連携も深まりつつある。

◇NPO支援センター連携事業

淡海ネットワークセンターと県内の市民活動支援センターが連携し、情報交換やスタッフ研修を実施。

協働ネットワークング・政策形成促進事業

NPO・市民活動団体が新しい事業にチャレンジしたり、活動の輪を広げる機会を提供し、活動のステップアップと団体の自立を支援している。

【支援メニュー・成果】

◇市民活動フォーラムの開催

市民社会を取り巻く環境の変化と課題を見据え、滋賀の市民活動をより活性化させるためにフォーラムを開催。

今まで、「おうみ市民活動屋台村」や各種フォーラムの開催等により、様々な団体が出会い、交流する機会を提供してきた。

◇活動団体ネットワークング促進事業

特定テーマや広域における活動団体のネットワーク構築を促進するため、企画を募集し、採択団体には取り組みの経費を負担。

団体等の自主的なネットワークづくりを幅広く支援している。

◇「市民活動ふらっとルーム」の運営

市民活動団体・NPOのミーティングや交流のためのスペースとして、人と情報の交流を促進。

おうみNPO活動基金の運営

「おうみNPO活動基金」からの資金助成により、地域課題に取り組むための新たな事業展開と団体の経営力強化を支援している。

【支援メニュー】

◇自主事業助成

実現可能な先駆的、波及性を期待させる取り組みで、組織の基盤強化につながるもの。

(助成率75%以内、助成額50万円～300万円)

◇協働事業助成

他の主体との協働により社会的課題を解決する取り組み。

○協働事業可能性調査(10万円の定額)

○協働事業実施(助成率75%以内、助成額50万円～200万円)

◇NPO活動支援機能助成

市民活動・NPOを支える組織が支援機能を充実する取り組み。

(助成率95%以内、助成額30万円～200万円)

◇まち普請事業助成

継続的な事業実施に必要な施設を整備する取り組み。

(助成率90%以内、助成額50万円～600万円)

【成果】

○県や民間団体・個人などからの資金提供により、2003年から2008年までの6年間に、延べ73団体に7,481万円の助成を行ってきた。

○現在集計中の助成団体を対象にしたアンケート調査では、助成を受けて「大いに満足している」または「満足している」と答えた団体は、回答のあった団体の9割を超えており、良かった点は、「運営費も対象になる」「前払いがある」という資金面の次に、「サポートも受けられる」という回答が多かった。また、アンケート調査の後に実施した面接調査でも、資金提供と合わせて行っている組織運営に対するサポートへの評価が高かった。

大津市市民活動センター・20年度事業計画を中心に

(1) 活動方針

大津市域を中心に市民が利用しやすいセンター施設の管理運営を日常的に行なう他、浜大津という中心市街地に立地する関係上、近隣の地域団体との交流・まちの活性化にも寄与できるよう多面的な事業活動を遂行する。

また、中間支援組織として市民活動の発展に貢献するように努め、かつ指定管理者という立場を踏まえて、効率的な組織運営に配慮する。

(2) 主な事業

① 全体事業

- ・市民活動団体の顔見世交流会（7/27実施）
- ・スモールオフィス入居者や施設利用者との交流会（年4回）
- ・センター評価委員会の設置（秋の予定）
- ・団塊世代対象の事業（6/28「世代のミッションを考える」実施）
- ・市民活動学校の開校準備

② 情報提供事業

- ・情報誌の発行（年6回の予定で2回発行済）、メールマガジン・FAX一斉通信（月1回のペースで実施中）
- ・ホームページの更新管理（4/10リニューアル実施）
- ・市民活動団体データベースの管理（現在108団体）

③ 交流協働事業

- ・各分野間の市民活動団体交流会（8/2実施、あと5回予定）
- ・共同開催イベント「浜大津フェスタ」への参加（10月予定）

④ 育成支援事業

- ・市民活動スキルアップ講座（8/23「NPO・10年」開催。あと2回 入門的な講座を12月に開催予定）
- ・市民と地域と行政の「協働を問う」講座（9/20「地域医療」予定 10/25に「男女共同参画」を予定 あと4回 11、1、2、3月予定）

⑤ 相談事業

- ・週1回のペースで随時実施（市民活動に関する相談、団塊世代を対象にした相談）

⑥ 施設管理事業

- ・日常的なセンター施設の管理運営

- ・センター紹介のリーフレット作成（9月）
- ・市民活動関連の図書充実（7月に補充実施）
- ・スモールオフィス等施設の利用促進（S0募集実施）
- ・利用者アンケート・ヒアリング実施

⑦ 人材ネットワーク事業

- ・人材登録バンク「かもかも登録」の推進（4月から開始）
- ・ホームページ活用による他団体との連携促進（従来の県内市民活動団体に加えて7月から自治会・全国の支援組織との連携開始）

⑧ 明日都浜大津と周辺地域・地縁団体との協働事業

- ・周辺商店街や公共施設等との連携（随時実施）
- ・地元企業や自治会との連携（随時実施）

⑨ 調査研究事業

- ・市民活動団体や地域との協働に関する調査研究（7月にアンケート実施）
- ・地域通貨の活用によるまちの活性化に関する調査研究（立命館大学のインターンシッププログラムとして7月から実施中）